



第1回熊本市教育の 情報化検討委員会

令和6年度（2024年度）9月5日（木） 熊本市教育センター



議事

(1) 話題提供

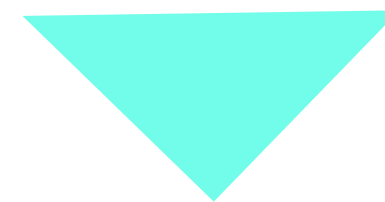
- ①全国の先進事例、動向について
- ②リーディングDXの取組について
- ③熊本市の教育ICT環境整備について

GIGAスクールに構想における学びの充実事業

R5リーディングDXスクール事業

背景・課題

GIGAスクール構想に基づく端末整備はほぼ完了したが、自治体間・学校間で端末活用に大きな格差が生じている。また、1人1台端末を前提とした指導は全く新たな取組であるため、教育課程上の工夫や指導技術が十分に確立していない。



端末の活用状況を把握・分析するとともに、授業改善を中心とする効果的な教育実践を創出・モデル化し、都道府県等の域内で校種を超えて横展開し全国展開することで、次期端末更新を迎える前に、全国全ての学校でICTの「普段使い」による教育活動の高度化を実現する。

R5リーディングDX事業 熊本市指定校

- ・ 川上小学校
 - ・ 北部中学校
- (生成AIパイロット校)

- ・ 五福小学校
- ・ 城東小学校
- ・ 藤園中学校

R5年度リーディングDX事業 五福小学校

様式B-6

リーディングDXスクール事業【実践事例】

熊本市立五福小学校(熊本県)

【取組内容④】 DXによる校務の効率化

Microsoft365を使った校務の共有



職員会議(資料)、スケジュール管理校務分掌担当からの連絡提案等、アンケート集約(フォームや共同編集)などペーパーレスを実践している。

クラウドツールによる共有および校務DX



校務クラウドによる文書管理、文書保存。端末から「いつでも取り出せる」システム。また、タブレットから出退勤ができる。

<ポイント> 校務の徹底した ペーパーレス化

端末の活用による、校務の効率



校務PCだけでなくタブレット(IPAD:LTE)を連携し同期させることで「いつでも、どこでも」を校務を実務できる環境を整え教師の働き方にも寄与している。

保護者等への発信等をペーパーレス化



安心メールより欠席連絡



保護者に向けてフォームでアンケート

安心メール(アプリ)を活用し、保護者からの欠席連絡や学校からの連絡を行っている。

- 1 学校だより、学級通信、各連絡などを随時行う。紙による連絡はほとんどしない。
- 2 避難訓練などの安否、アンケート集約も安心メールを通して行っている。
- 3 PTAもペーパーレスでPTA資料等も紙は使わず、本校HPに置くことで閲覧できるようにしている。



リーディングDXスクール
実践事例



「いつでもどこでもできる」を 実現する校務のデジタル化

熊本市立五福小学校（熊本県）

GIGAスクールに構想における学びの充実事業

R6リーディングDXスクール事業

実施する具体的内容（主な項目）

【取組 1】

- ①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
- ②教育課程全体を通じた情報活用能力の育成
- ③動画教材の活用、地域人材や外部専門家の参画を得たオンライン授業、
端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実
- ④教員の働き方改革につなげる取組、保護者との連絡をはじめとする校務DX
- ⑤全国の優れた端末活用の事例から学び続けること
徹底的な端末活用が図られている他の指定校の授業視察に行くことを強く推奨

GIGAスクールに構想における学びの充実事業

R6リーディングDXスクール事業

実施する具体的内容（主な項目）

【取組2】（希望校）

- ①生成AIの教育活動や、校務における活用
- ②実践内容を動画・写真・研修のオンライン公開により地域内外に普及
- ③学校のWebサイト等に活用の様子、授業公開日時、研修会予定を公開

R6リーディングDX事業 熊本市指定校

- ・ 桜山中学校
(生成AIパイロット校)

- ・ 五福小学校



Distinguished School

令和6年度(2024年度) Apple Open Day
リーディングDXスクール事業 学校公開 (二次案内)

熊本市立五福小学校 自主研究発表会のご案内



〇と×の評価テストで満足ですか？

いいえ、パフォーマンス課題です

①単元のゴール(アウトプット：成果物等)を意図した課題設定
②様々なアプリを活用した授業実践！

令和6年7月12日(金) 14:00~16:40 熊本市立五福小学校

13:30	14:00	14:45	15:00	15:45	15:55	16:40
受付	公開授業 (1~6年予定)	休憩	ディスカッション	移動 休憩	全体講話	閉会

すべての学年で授業公開予定
様々な表現方法を用いた
アウトプットの授業を公開
iPad(アプリ)を用いた
クリエイティブな学び
詳しい見所は裏面に！

全体講演 講師

前田先生には、
令和元年度より
本校の研究に
関わっていただ
いています。
当日の講演を
お楽しみに！

熊本大学 特任教授
前田 康裕 先生五福小学校 R6リーディングDX公開授業
7月12日(金)

公開授業(予定)と授業のポイント

相手意識を
もって表現
方法を自分
で選ぼう
(1,2年生)

リンクを
活用して
楽しい新聞
を作ろう！

いろいろな
表現方法で
まとめ
よう

クラス	教科名・単元名	授業者
1年 2組	図工 「変身させよう すてきなもよう」	石見 朋子
2年 2組	国語 「どうぶつ園のかんばんと ガイドブック」	江藤 裕二
3年 1組	外国語活動 「Unit4 I like blue. 相手に伝わる自己紹介」	木上 有里恵
4年 1組	社会 「ごみと水の学習 環境新聞を作ろう」	佃 美湖
5年 2組	総合的な学習の時間 「五福の和の文化」	熊川 美咲
6年 2組	算数 「円の面積 学習をいろいろな形でまとめよう」	本田 貴士

全授業でiPad
アプリを活用した
授業を公開！

ALTに
伝わる
ように工夫
しよう

地域との
連携を大切
にする



★参加申込み



R6リーディングDX公開授業 桜山中学校

10月24日（木）

各学校（園）長 様
関係者 様

令和6年〇月〇日

熊本市立桜山中学校長 千田 庸介

令和6年度（2024年度）熊本市教育センター 研究モデル校

熊本市立桜山中学校授業研究会のご案内（一次）

Reserch Persentation *Here we go*

【研究主題】自他の幸せを求め、自ら考え、主体的に学ぶ生徒の育成
～STEAM教育による探究的な活動を通して～

1 期 日 令和6年10月24日（木）
2 会 場 熊本市立桜山中学校
3 日 程 13:20 14:50 14:40 15:00 15:40 15:50 16:40

受付	公開授業 (1・2年予定)	休憩	授業研究会	休憩	全体会 講師による鼎談
----	------------------	----	-------	----	----------------

Q:授業改善で重視することは何でしょうか？
A:生徒の情報活用能力の育成です。
そのために①教科を横断する単元の工夫
②創造的にICTを活用する実践を発表します。



Canva Japan
坂本 良晶 さん



九州ルーテル学院大学
本田 裕紀 教授



熊本大学大学院
前田 康裕 特任教授



日程及び授業案内等の詳細については、9月中旬に2次案内いたします。
ご不明な点はお問合せください。担当:徳永潤治（研究主任）

参加申込み
QRコード

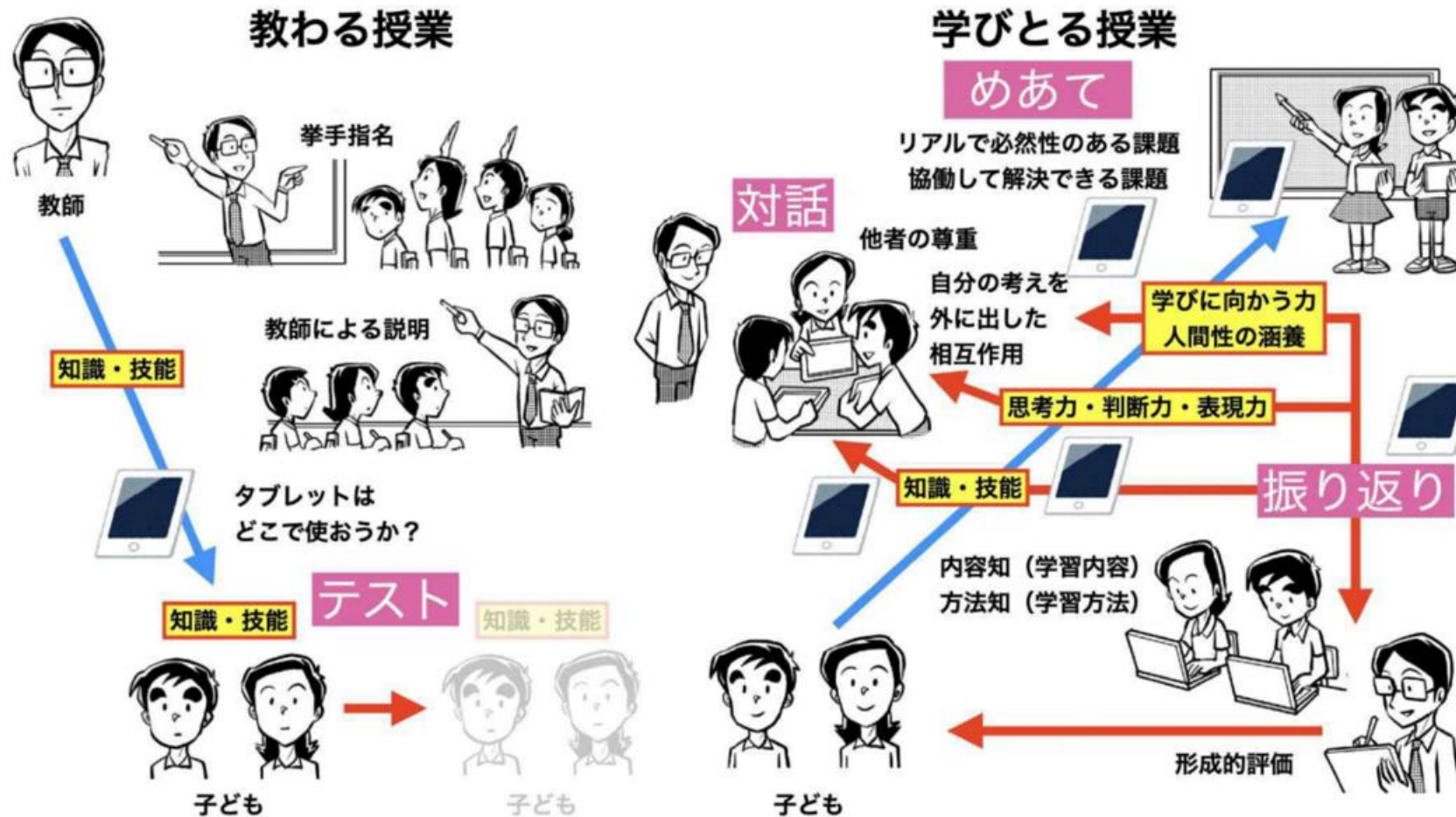
熊本市立桜山中学校
〒860-0862 熊本県熊本市中央区黒髪5丁目13番1
TEL:096-344-3828 Email:sakurayamajh@kumamoto-kmm.ed.jp

(2) 自由討議

- ①学校の取組状況紹介
- ②1人1台端末を活用した多様な学びについて
- ③GIGAスクール構想における熊本市の
これまでの総括と今後の方向性について

5 「教わる授業」から「学びとる授業」へ

前述したことを踏まえると、下の図のように、教師主導の「教わる授業」から、子どもが主役の「学びとる授業」への授業改善が求められると言えましょう。これは「教師が教えてはいけない」ということではなく、「子どもたちが自ら課題を見つけ、友達を対話をしながら解決を行い、振り返りながら次に生かせるような授業改善」の方向性を示すものであり、この授業改善を実現する上で、タブレット型端末が有効に生かせるということです。

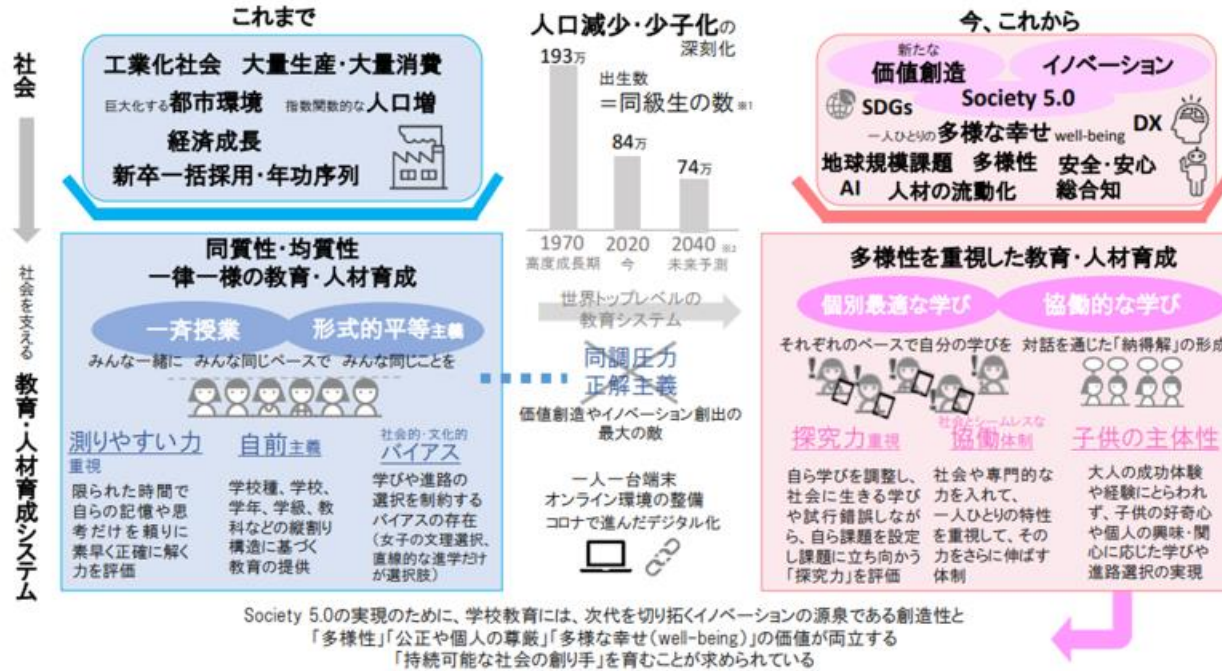


社会と教育の「これまで」と「これから」

2. 教育・人材育成システムの転換の方向性

20

統制のとれた組織のもとで機械・設備に合わせて標準化される工業化社会においては、同質性・均質性を備えた一律一様の教育・人材育成が求められ、一斉授業・平等主義のもとに世界トップレベルの教育・人材育成システムが日本の大きな経済成長を支えてきた。しかし、人口減少・少子化の深刻化とともに、目の前にある「新たな価値創造」「イノベーション創出」「一人ひとりの多様な幸せ」を目指すSociety 5.0時代、DX、そしてアフターコロナという大きな時代の転換期にある今、すべての子供の可能性を最大限引き出す教育・人材育成システムの抜本的な転換が急務。



教師と共に「知識の発展」

- 個人の強みを引き出す
- 様々な価値観があることが前提
- 楽しく学び続ける力や新たな価値を生み出す力

教師の「知識を伝達」

- みんな一緒に
- みんな同じペースで
- みんな同じことを



子供たちの特性や関心・意欲は様々



話すこと・聞くこと
書くこと・読むこと
が得意な子供

文字情報・
音映像などの情報の扱
いが得意な子供



音やダンスで
表現することが
得意な子供



特定の分野に極めて
高い集中力を
示す子供



興味や関心が
拡散しやすい子供

特定の分野などに
関心・意欲や知的的好奇心
が旺盛な子供



1人1台のタブレット端末を使用することが前提

- 国語 「ノートの作り方」＋「デジタルノートの作り方」（3年生以上）
- 国語 「ビデオメッセージを作る」（6年生）
- 社会 「インターネット検索」「写真や動画の記録」「プレゼンテーション」など
- 算数 「わくわくプログラミング」
- 生活 「しゃしんやどうがをとろう」「しゃしんやどうがでふりかえろう」
- 理科 「写真や動画をとってみよう」「インターネットのウェブサイトを見てみよう」
- 外国語 「地域の名物を紹介し合おう」「自分で自分を録画してみよう」



熊本市が目指す授業と教育ICT環境整備



導入スケジュール

2018年度

先行導入校研修
8月16日～8月31日
小学校 16校
中学校 8校
合計 24校

先行導入校
9月運用開始

小学校導入研修
1月8日～2月25日
小学校 76校

2019年度

小学校導入校
4月運用開始

中学校導入研修
11月～12月
中学校 34校

2020年度

中学校導入校
4月運用開始

100校（約16500台）運用

134校（約23500台）運用



2020年度

1人1台の整備
2021年2月完了



- 1.授業が変わる
- 2.家庭学習が変わる
- 3.保護者とつながる



iPad

なぜ . . .

この5年間は . . .

これからの使い方 . . .



平成27・28年度

託麻北小学校



教育の情報化研究モデル校

藤園中学校 公開授業



平成28年 9月・11月

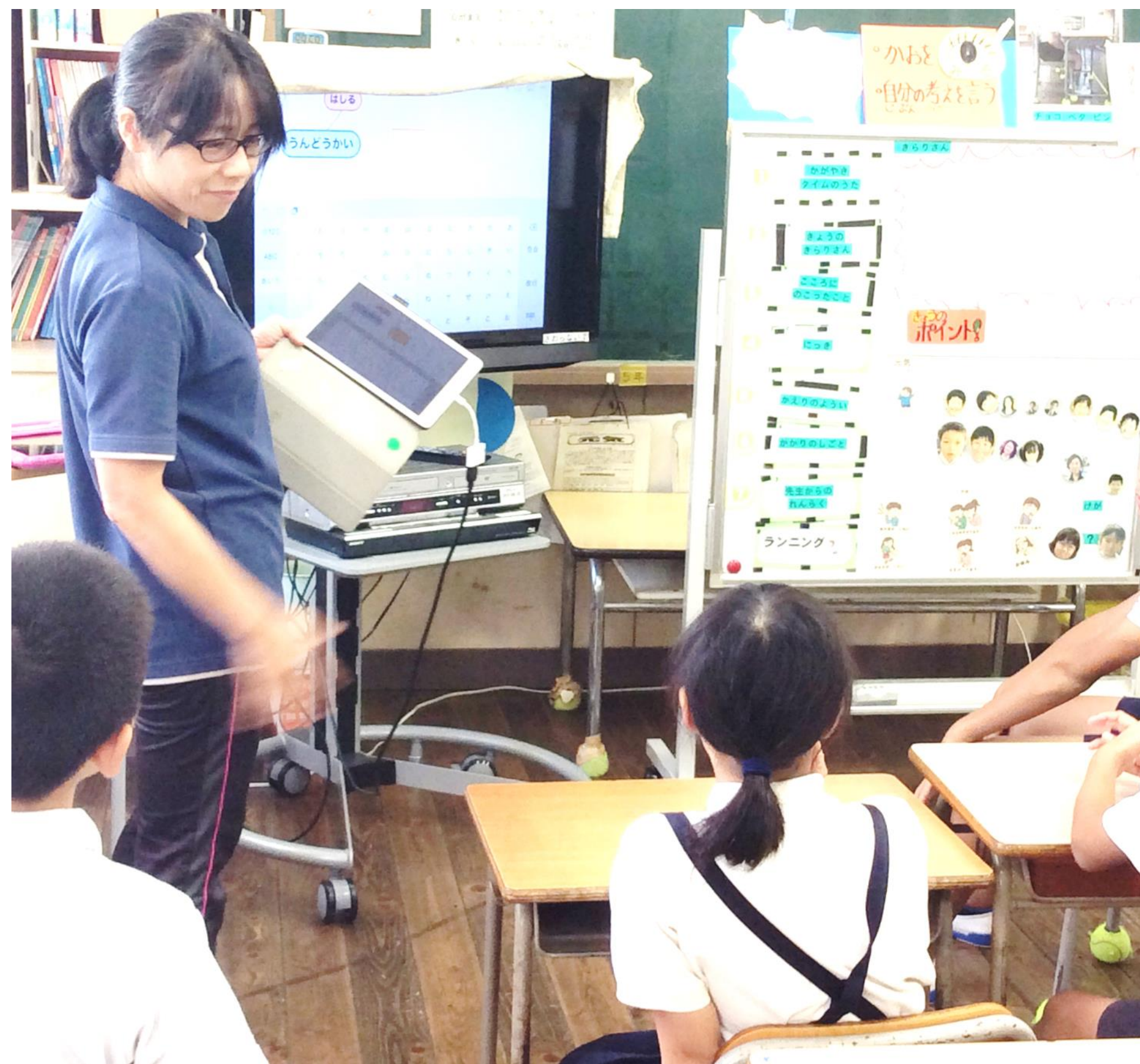
熊本市教育委員会

教育政策課

総合支援課

教育センター

「特別支援学級における」タブレット端末の効果的な活用について



託麻北小学校

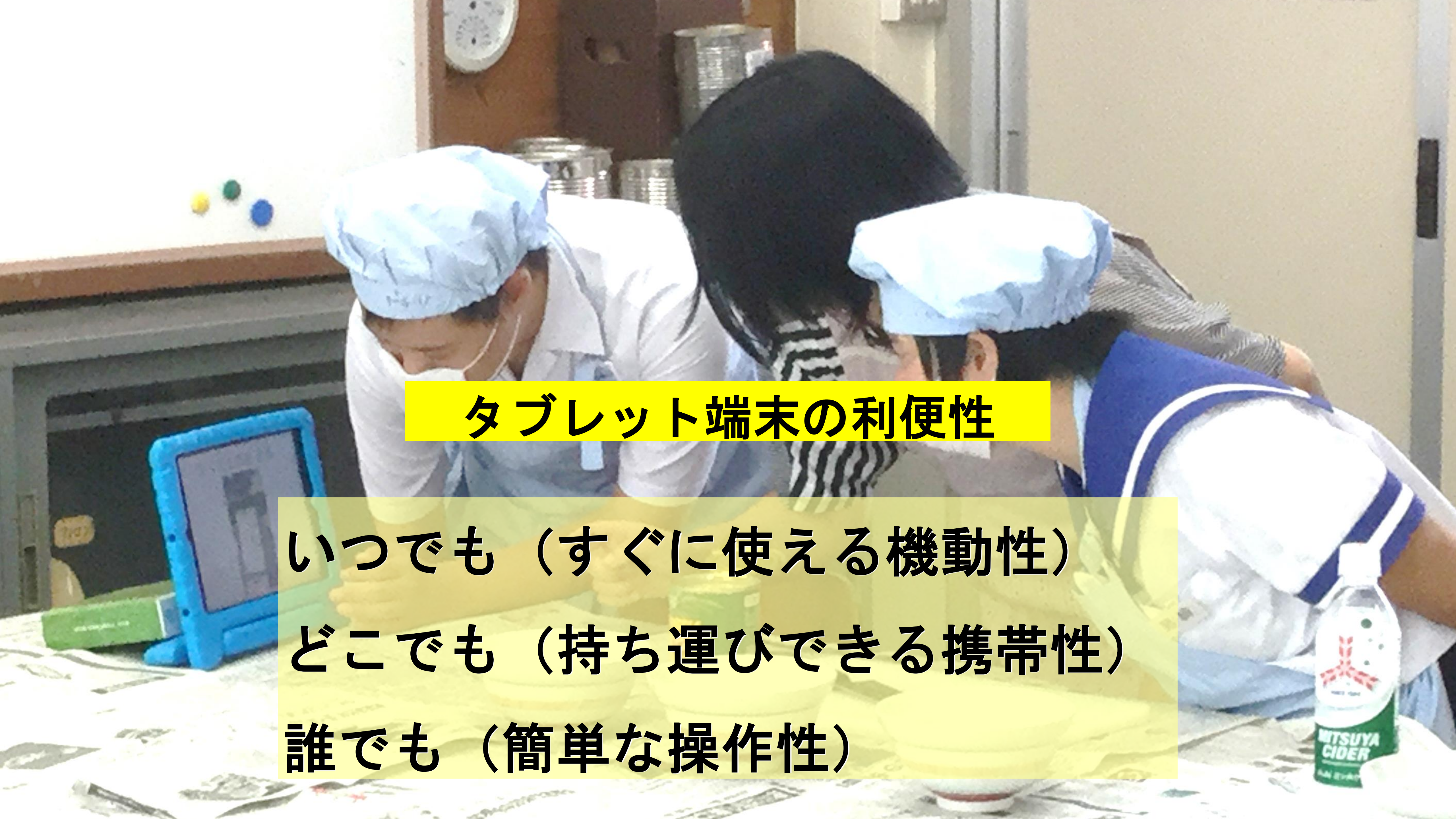


藤園中学校

研究のポイント

- 子ども一人一人の実態に合ったタブレット活用
- 主体的な学びを育む効果的なICT活用





タブレット端末の利便性

いつでも（すぐに使える機動性）

どこでも（持ち運びできる携帯性）

誰でも（簡単な操作性）

写真・動画の活用



かがやきタイム

写真を見て一日をふりかえる

写真・動画の活用



国語「セリフをいおう」

場面を読み取り
自分のセリフを考える

情報（動画）の活用



作業手順の確認

コミュニケーション（対話）の場面が増える

教師作成の 作業手順動画



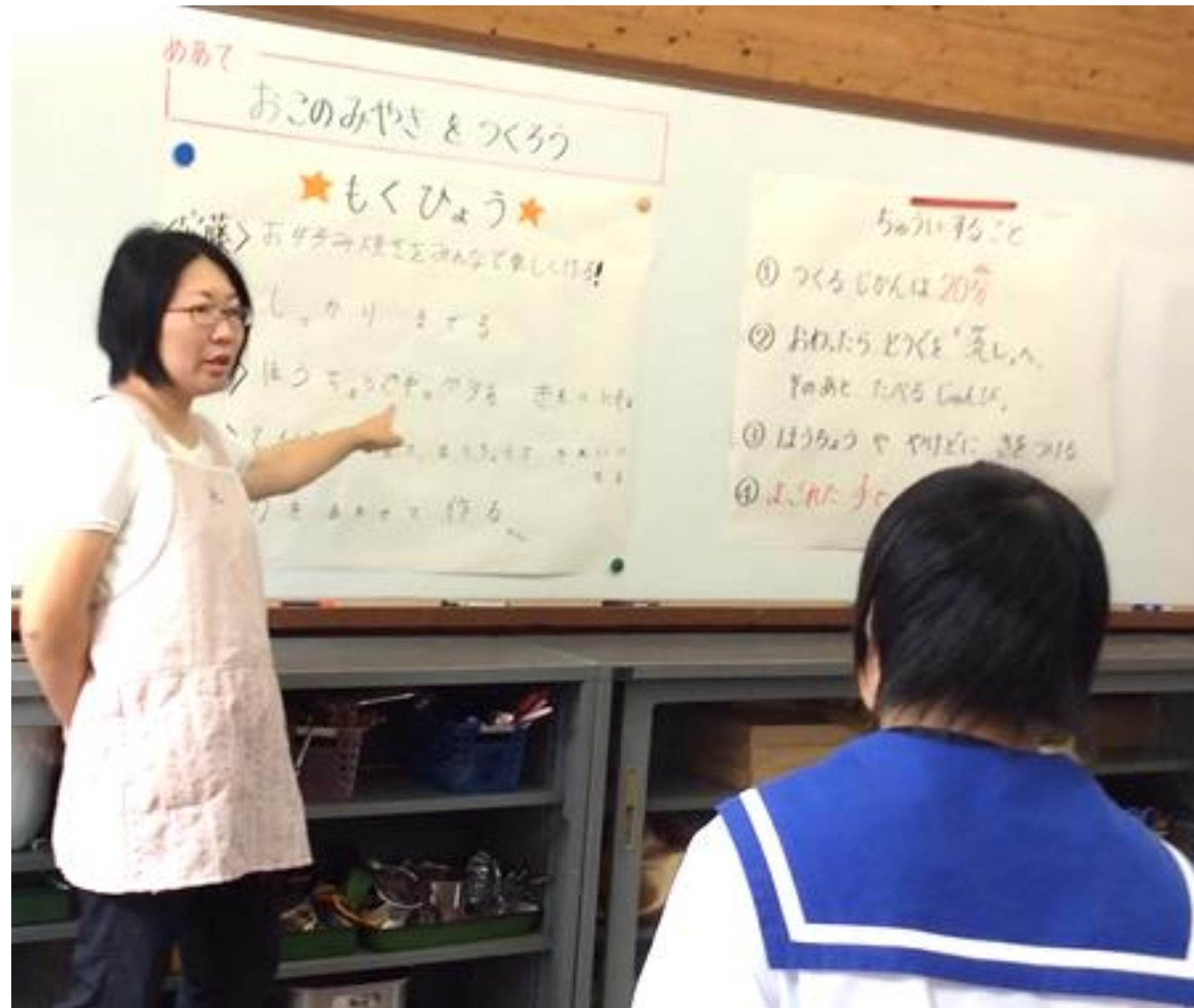
教師の支援



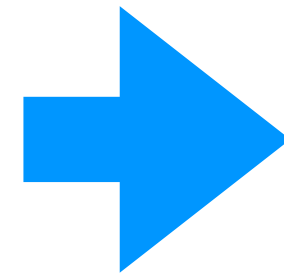
ほめる、励ます、認める

成功体験を味わう

評価活動の充実



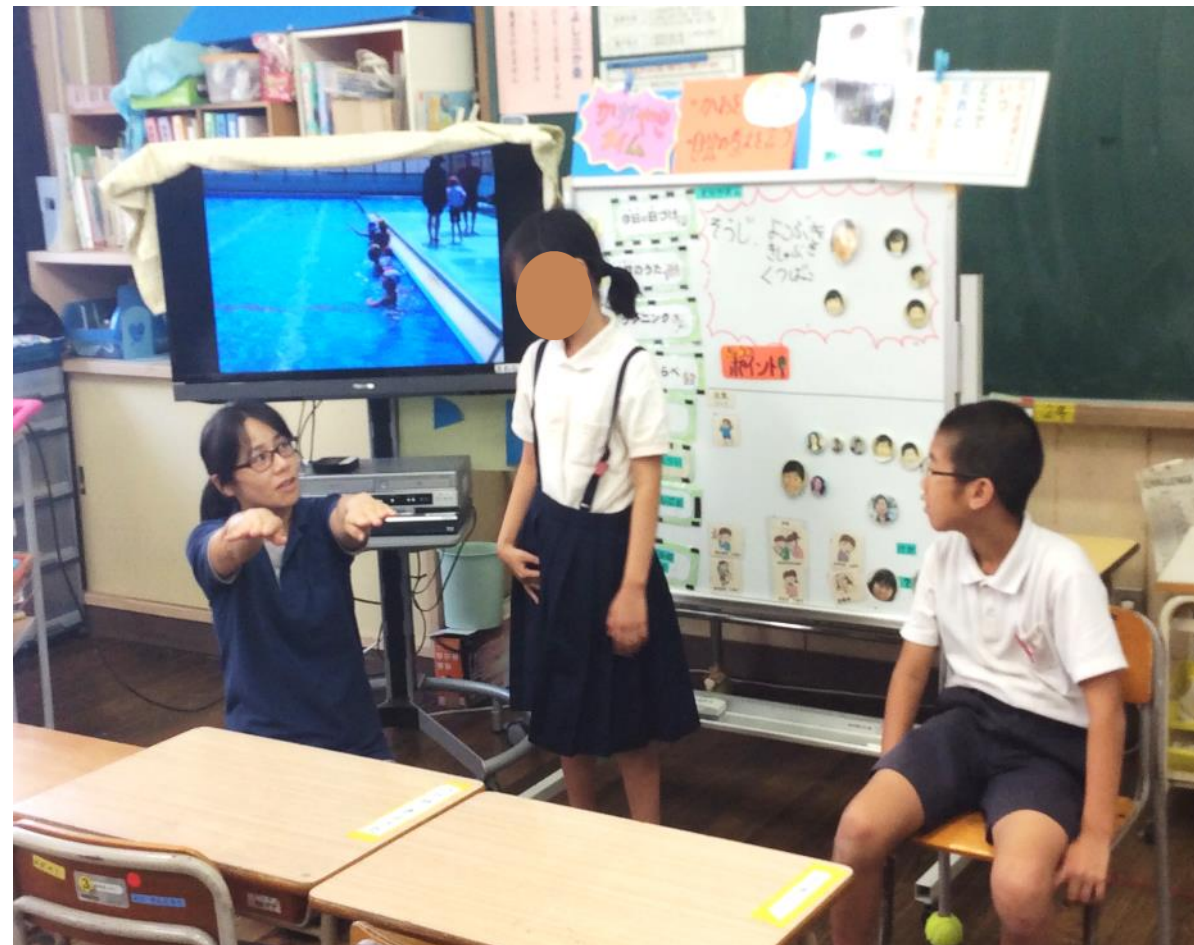
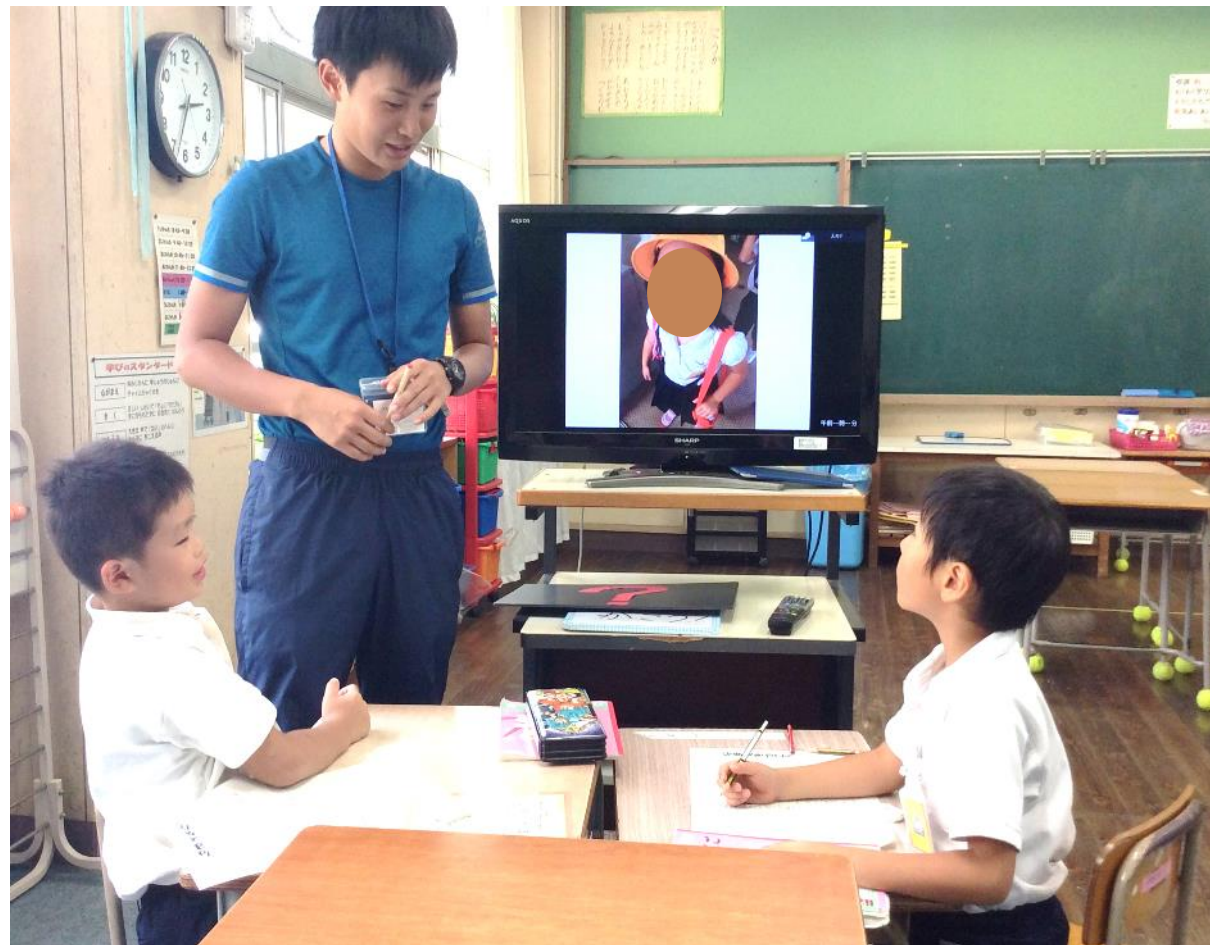
めあて



写真・動画で活動を振り返る

写真や動画など視覚的な支援

小学校



タブレット端末に触れる・慣れる

中学校



タブレット端末の情報を活用する

タブレット端末の優位性

- ①手元で**視聴**する
- ②写真や動画を**撮る**
- ③画面を**拡大**する
- ④文字や線を**書き込む**
- ⑤画面上で**動かす**
- ⑥出力装置で**見せる**
- ⑦データを**送る**

中川一史氏資料より





子どもにとって使いやすい

タブレット端末iPadの活用例

1. 学習支援

個別支援

学習の記録

教材の提供

2. コミュニケーション

遠隔授業

意見共有

発表支援

3. 創作活動

動画・音声編集

プレゼンテーション

デジタルアート



熊本市の教育ICT環境整備

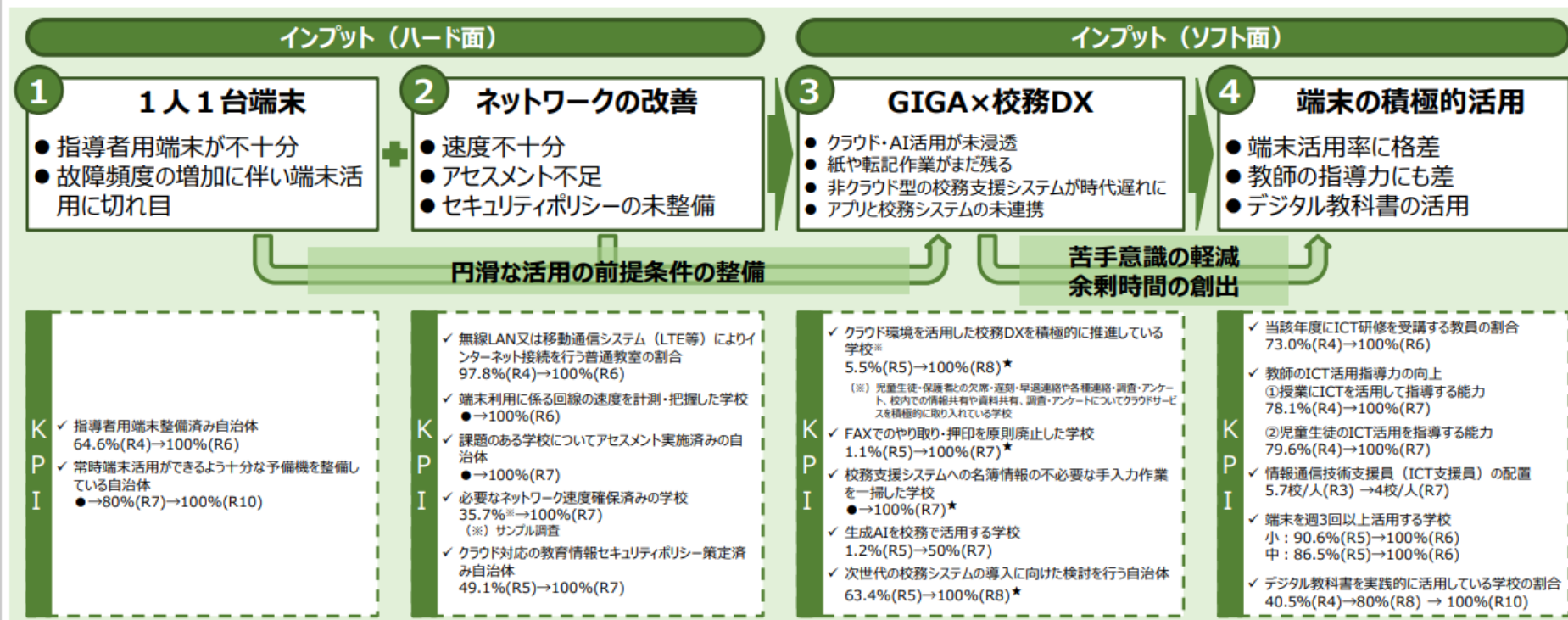
- 特別支援教育の視点（多様なニーズへの対応）がキモ
- 「モデルカリキュラム」をもとに、さらなる授業改善を
- 2025年 iPad端末更新 新たなステップ



(2) 自由討議 ③GIGAスクール構想における熊本市のこれまでの総括と今後の方向性について

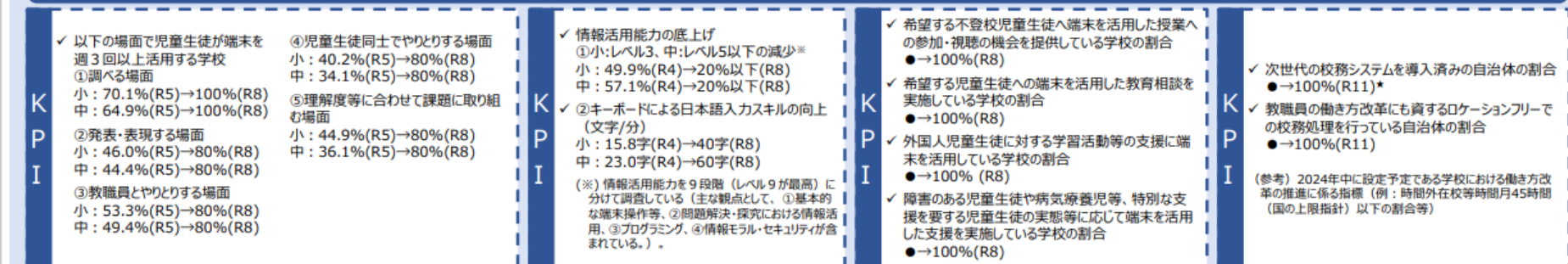
教育DXに係る当面のKPI

令和6年4月22日
デジタル行財政改革会議



アウトカム

①個別最適・協働的な学びの充実 ②情報活用能力の向上 ③学びの保障 ④働き方改革への寄与



●：現時点において未調査の数値

★：ダッシュボードにより進捗を管理するKPI

※本資料については、取組の進捗を踏まえて継続的に見直す。

(2) 自由討議 ③GIGAスクール構想における熊本市のこれまでの総括と今後の方向性について

教育DXに係る当面のKPI			全国の現状	目標	熊本市の現状
イン プ ット (ハード面)	①一人一台端末	指導者用端末整備	64.6% (R4)	100% (R6)	○ 平成30年9月
		常時端末活用ができるよう十分な予備機を整備	80% (R7)	100% (R10)	○ 平成30年9月
	②ネットワークの改善	インターネット接続を行う普通教室	97.8% (R4)	100% (R6)	○ e-net、セルラー
		回線の速度を計測・把握	－	100% (R6)	○ 随時対応
		課題のある学校へのアセスメント実施	－	100% (R7)	○ 随時対応
		必要なネットワーク速度確保	35.7% (R5)	100% (R7)	○ 随時対応
		クラウド対応の教育情報セキュリティポリシー策定	49.1% (R5)	100% (R7)	○ 令和6年4月
イン プ ット (ソフト面)	③GIGA×校務DX	クラウド環境を活用した校務DXを積極的に推進	5.5% (R5)	100% (R8)	Teams、すぐーる、forms など
		FAXでのやりとり・押印を原則廃止	1.1% (R5)	100% (R7)	FAX: 8.3%、押印・署名: 13.2%の学校がないと回答(R5)
		校務支援システムへの手入力作業を一掃	－	100% (R7)	
		生成AIの校務活用	1.2% (R5)	50% (R7)	e-netのcopilot令和6年度、25.6%の学校で一部活用(R5)
		次世代校務システムの導入検討	63.4% (R5)	100% (R8)	令和10年1月更新予定
	④端末の積極的活用	ICT研修を受講する教員の割合	72.0% (R5)	100% (R6)	※熊本県 83.7%(R5速報値)
		教師のICT活用指導力の向上			
		①授業にICTを活用して指導する能力	80.4% (R5)	100% (R7)	※熊本県 87.1%(R5速報値)
		②児童生徒のICT活用を指導する能力	81.6% (R5)	100% (R7)	※熊本県 86.3%(R5速報値)
		ICT支援員の配置	5.7校/人 (R3)	4校/人 (R7)	6.6校/人(R6) ※熊本市146校(幼小中高特ビ)
		端末を週3回以上活用する学校	小: 93.2% 中: 90.8% (R6)	100% (R6)	○ 小: 100% +6.8 ※全国比 中: 95.3% (R6) +4.5
		デジタル教科書を実践的に活用している学校	40.5% (R4)	80% (R8) 100% (R10)	指導者用小学校全教科、中学校8教科(R7より全教科) 学習者用英語100%、算数学50%に配付
ア ウ ト カ ム	①個別最適・協働的な学びの充実	児童生徒が端末を週3回以上活用する学校	小: 76.6% 中: 70.4% (R6)	100% (R8)	小: 80.5% +3.9 中: 79.0% (R6) +8.6
		①調べる場面	小: 55.1% 中: 51.9% (R6)	80% (R8)	小: 72.8% +17.7 中: 69.7% (R6) +17.8
		②発表・表現する場面	小: 59.7% 中: 57.4% (R6)	80% (R8)	○ 小: 82.6% +22.9 ○ 中: 86.0% (R6) +28.6
		③教職員とやりとりする場面	小: 45.0% 中: 41.1% (R6)	80% (R8)	小: 53.2% +8.2 中: 37.3% (R6) -3.8
		④児童生徒同士でやりとりする場面	小: 52.8% 中: 42.2% (R6)	80% (R8)	小: 57.6% +4.8 中: 34.9% (R6) -7.3
		⑤理解度に合わせて課題に取り組む場面	小: 49.9% 中: 57.1% (R4)	20%以下 (R8)	
	②情報活用能力の向上	情報活用能力の底上げ	小: 15.8字 中: 23.0字 (R4)	小: 40字 中: 60字 (R8)	
		①小: レベル3、中: レベル5以下の減少			
	③学びの保障	②キーボードによる日本語入力(文字/分)			
		不登校児童生徒への授業への参加・配信	小: 22.4% 中: 35.6% (R6)	100% (R8)	小: 24.0% +1.6 中: 27.9% (R6) -7.7
		端末を活用した教育相談の実施	小: 8.3% 中: 11.2% (R6)	100% (R8)	小: 6.5% -1.8 中: 7.0% (R6) -4.2
		外国人児童生徒へのICT支援	小: 14.3% 中: 15.6% (R6)	100% (R8)	小: 16.3% +2.0 中: 13.9% (R6) -1.7
		障害のある児童生徒へのICT支援	小: 48.5% 中: 48.9% (R6)	100% (R8)	小: 69.6% +21.1 中: 65.2% (R6) +16.3
	④働き方改革への寄与	次世代校務システムを導入済み	－	100% (R11)	令和10年1月更新予定
		ロケーションフリーでの校務処理	－	100% (R11)	e-net/パソコンでWrap実証中

教育DXに係る当面のKPI

	項目	全国の現状	目標	熊本市の現状	
①一人一台 端末	指導者用端末整備	64.6% (R4)	100% (R6)	○	平成30年9月
	常時端末活用ができるよう十分な予備機を整備	80% (R7)	100% (R10)	○	平成30年9月
②ネットワー クの改善	インターネット接続を行う普通教室	97.8% (R4)	100% (R6)	○	e-net、セルラー
	回線の速度を計測・把握	-	100% (R6)	○	随時対応
	課題のある学校へのアセスメント実施	-	100% (R7)	○	随時対応
	必要なネットワーク速度確保	35.7% (R5)	100% (R7)	○	随時対応
	クラウド対応の教育情報セキュリティポ リシー策定	49.1% (R5)	100% (R7)	○	令和6年4月

教育DXに係る当面のKPI

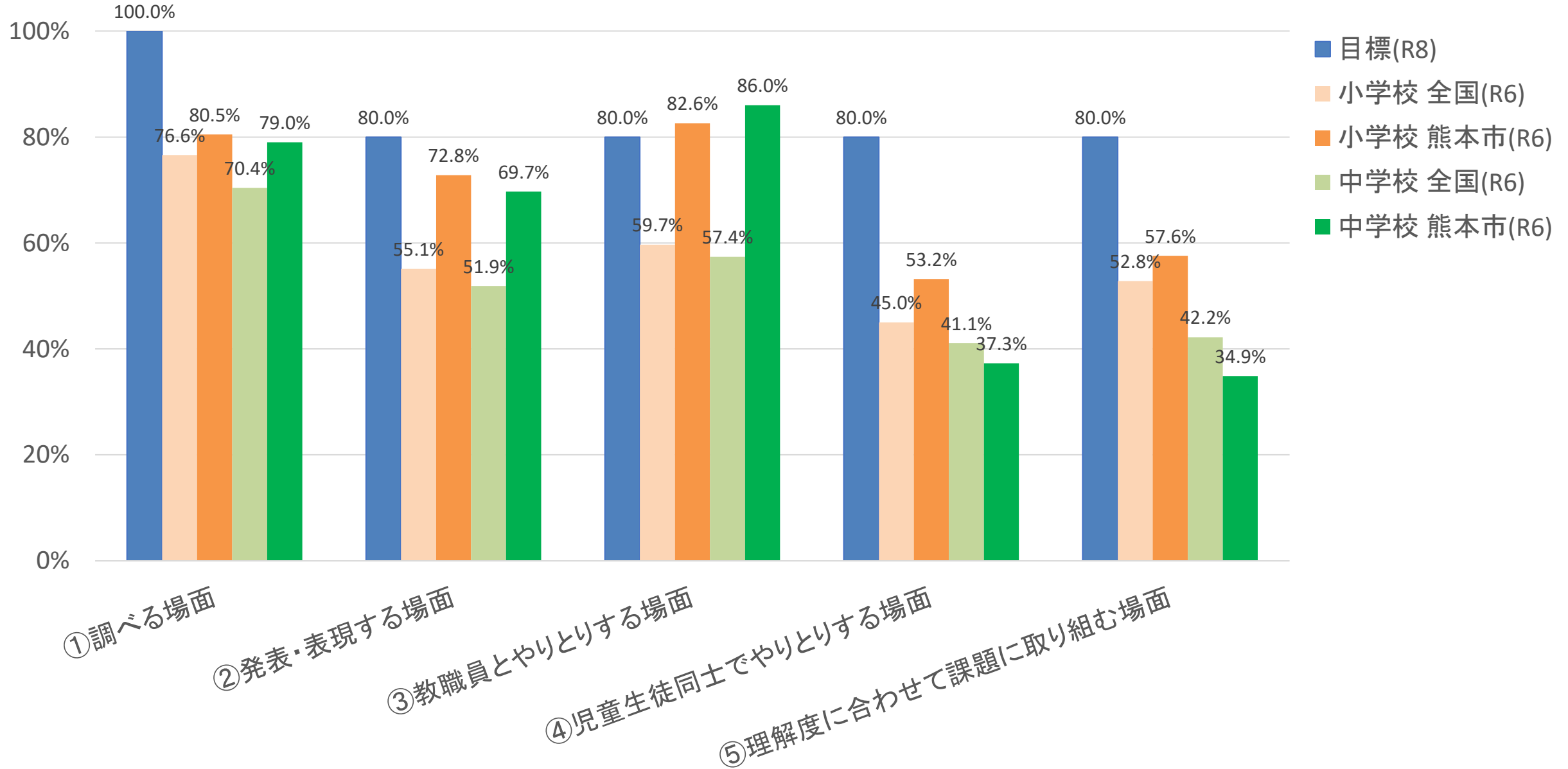
	項目	全国の現状	目標	熊本市の現状	
③GIGA× 校務DX	クラウド環境を活用した校務DXを積極的に推進	5.5% (R5)	100% (R8)		Teams、すぐーる、forms など
	FAXでのやりとり・押印を原則廃止	1.1% (R5)	100% (R7)		FAX: 8.3%、押印・署名: 13.2%の学校がないと回答(R5)
	校務支援システムへの手入力作業を一掃	-	100% (R7)		
	生成AIの校務活用	1.2% (R5)	50% (R7)		e-netのcopilot令和6年度、25.6%の学校で一部活用(R5)
	次世代校務システムの導入検討	63.4% (R5)	100% (R8)		令和10年1月更新予定

教育DXに係る当面のKPI

	項目	全国の現状	目標	熊本市の現状	
④端末の積極的活用	ICT研修を受講する教員の割合	72.0% (R5)	100% (R6)		※熊本県 83.7%(R5速報値)
	教師のICT活用指導力の向上				
	①授業にICTを活用して指導する能力	80.4% (R5)	100% (R7)		※熊本県 87.1%(R5速報値)
	②児童生徒のICT活用を指導する能力	81.6% (R5)	100% (R7)		※熊本県 86.3%(R5速報値)
	ICT支援員の配置	5.7校/人 (R3)	4校/人 (R7)		6.6校/人(R6) ※熊本市146校(幼小中高特ビ)
	端末を週3回以上活用する学校	小: 93.2% (R6) 中: 90.8% (R6)	100% (R6)	○	小: 100% +6.8 ※全国比 中: 95.3% (R6) +4.5
	デジタル教科書を実践的に活用している学校	40.5% (R4)	80% (R8) 100% (R10)		指導者用小学校全教科、中学校8教科 (R7より全教科) 学習者用英語100%、算数学50%に配付

(2) 自由討議 ③GIGAスクール構想における熊本市のこれまでの総括と今後の方向性について

以下の場面で児童生徒が端末を週3回以上活用する学校



(2) 自由討議 ③GIGAスクール構想における熊本市のこれまでの総括と今後の方向性について

熊本市版 ICT教育モデルカリキュラム小学校版 2024年度 Ver.5.0



熊本大学大学院教育研究科 ICT教育チーム

ICT教育モデルカリキュラム小学校版 2024年度 Ver.5.0で改訂されたポイント

1、目的に応じたアプリケーションの活用

タブレット型端末が導入されて数年が経過し、日常的な活用が進んでいる状況を見据えて、「情報活用能力育成の段階表」の中に基礎的な知識・技能としてアプリケーションも入れて整理しました。また、「学年別年間指導計画」にも教科の学習の中で使用するアプリケーションも加えています。

2、ICT活用のステップ

(チャプター1:セクション3)

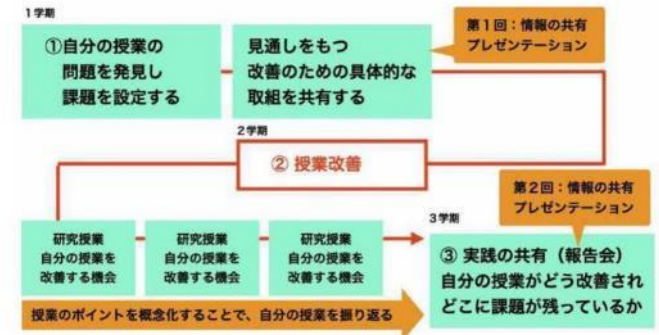
より発展的な学習ができるよう「ICT活用のステップ」の内容を増やしました。



3、校内研修の充実

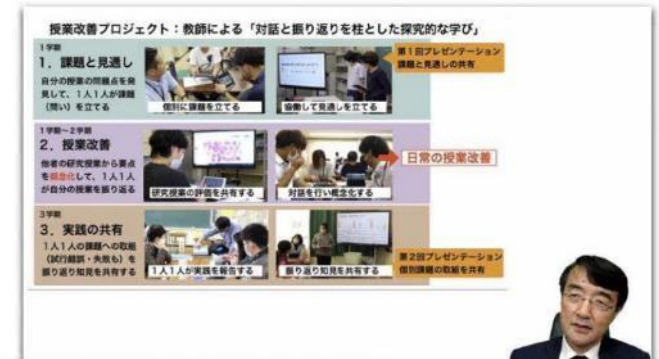
(チャプター4)

授業改善をより一層推進できるよう「校内研修の充実」の内容を増やし、具体的な事例を紹介しております。



4、解説用動画のリンク

解説用の動画が視聴できるようリンクを付けました。



熊本市版 ICT教育モデルカリキュラム中学校版 2024年度 Ver.3.0



熊本大学大学院教育研究科 ICT教育チーム

教育DXに係る当面のKPI ②情報活用能力の向上

①情報活用能力調査の習熟度レベルが
小学校はレベル3、中学校はレベル5以下の児童生徒の割合
を20%以下にする(R8)。

小学校：49.9% (R4) 中学校：57.1% (R4)

レベル5

- ① 指定されたフォルダへファイルに名前を付けて保存できる / クラウド上の編集権限を設定できる
- ② 目的に応じて、情報を図、表、グラフに示すことができる
- ③ 分岐処理のプログラムをフローチャートに表すことができる
- ④ コンピュータウイルス感染の原因について理解している

レベル3

- ① 指定されたフォルダを選択できる / ファイルの共有範囲を設定できる
- ② 複数の条件に応じて、情報を選択し、見いだした特徴を基に分類できる
- ③ 条件に応じてフローチャートを修正したり、情報処理の手順を図で表したりすることができる
- ④ SNS の特性や著作権違反となる行動を理解している

図表 2-1-1 習熟度レベルの受検者分布・特徴一覧

レベル ^{※1}	各レベルの児童生徒の割合 ^{※2}	調査の結果を基に想定できる各レベルの児童生徒が身に付けている情報活用能力の例 ^{※3}
レベル9 669点以上	高 9.7% 中 1.9% 小 0.1%	① アプリケーション、システム、デジタルの特徴を理解している ② 他人の主張に関する根拠を見つけることができる / 複数の条件に応じて、複数の情報を検索し、選択できる ③ 反復処理を含むプログラムの実行結果を想定しながら修正できる ④ 不適切な情報を受信せずに、個人情報や著作権を保護しながら発信できる
レベル8 669点 622点 622点	高 14.5% 中 5.9% 小 0.4%	① 全角・半角・英字・数字・記号などを使い分けて入力できる ② 複数の条件に応じて、複数の情報を選択できる / 目的に応じて、グラフを選択し、修正できる ③ 複数の条件分岐を含むプログラムを理解している / 目的に応じて、フローチャートを考えることができる ④ 不適切な情報発信を指摘できる
レベル7 622点 572点 572点	高 20.4% 中 13.1% 小 1.8%	① ホームページ等を管理するためのアカウント権限を設定できる / ファイルサイズの削減などができる ② 信頼できる情報を選択できる / データの矛盾点を指摘できる ③ 目的に応じて、反復処理のプログラミングができる ④ コンピュータウイルスの感染対策ができる / 公開してはいけない記事の判断ができる
レベル6 572点 524点 524点	高 21.9% 中 21.9% 小 6.4%	① 目的に応じて、アプリケーションを選択し、操作ができる ② 目的に応じて、情報を整理することができる / 複数の事象を示した図を読み解くことができる ③ 分岐処理のプログラムの実行結果を修正することができる / プログラムの不具合から修正すべき箇所を見つけることができる ④ デジタル情報の発信に関わる肖像権、著作権等の権利やそれを守る方法を理解している
レベル5 524点 480点 480点	高 17.4% 中 24.9% 小 15.6%	① 指定されたフォルダへファイルに名前を付けて保存できる / クラウド上の編集権限を設定できる ② 目的に応じて、情報を図、表、グラフに示すことができる ③ 分岐処理のプログラムをフローチャートに表すことができる ④ コンピュータウイルス感染の原因について理解している
レベル4 480点 417点 417点	高 9.3% 中 17.8% 小 25.8%	① 指示に従って、アプリケーションを選択し、操作ができる ② 複数のページに書かれている情報を要約できる ③ 簡単な分岐処理のプログラミングができる ④ 自分の情報を守ったり、健康に留意したりしながら情報端末を使用することができる
レベル3 417点 381点 381点	高 4.1% 中 9.2% 小 23.6%	① 指定されたフォルダを選択できる / ファイルの共有範囲を設定できる ② 複数の条件に応じて、情報を選択し、見いだした特徴を基に分類できる ③ 条件に応じてフローチャートを修正したり、情報処理の手順を図で表したりすることができる ④ SNS の特性や著作権違反となる行動を理解している
レベル2 381点 329点 329点	高 1.8% 中 3.9% 小 15.9%	① 指定された手順通りに画像の挿入ができる ② 複数の条件に応じて、情報を選択し、比較して特徴を見つけることができる ③ 簡単な反復処理のプログラミングができる ④ 情報には権利があることを理解している
レベル1 329点未満	高 0.9% 中 1.3% 小 10.4%	① ドラッグ＆ドロップなどのコンピュータの簡単な操作ができる ② 簡単なグラフや表から情報の読み取りができる / 指示された情報の比較ができる ③ 簡単な分岐処理のプログラミングができる ④ ID とパスワードの重要性を理解している

教育DXに係る当面のKPI

②情報活用能力の向上

②キーボードによる日本語入力

小学校 40字/分

中学校 60字/分 (R8)

全国平均 (R4)

小学校 15.8字/分

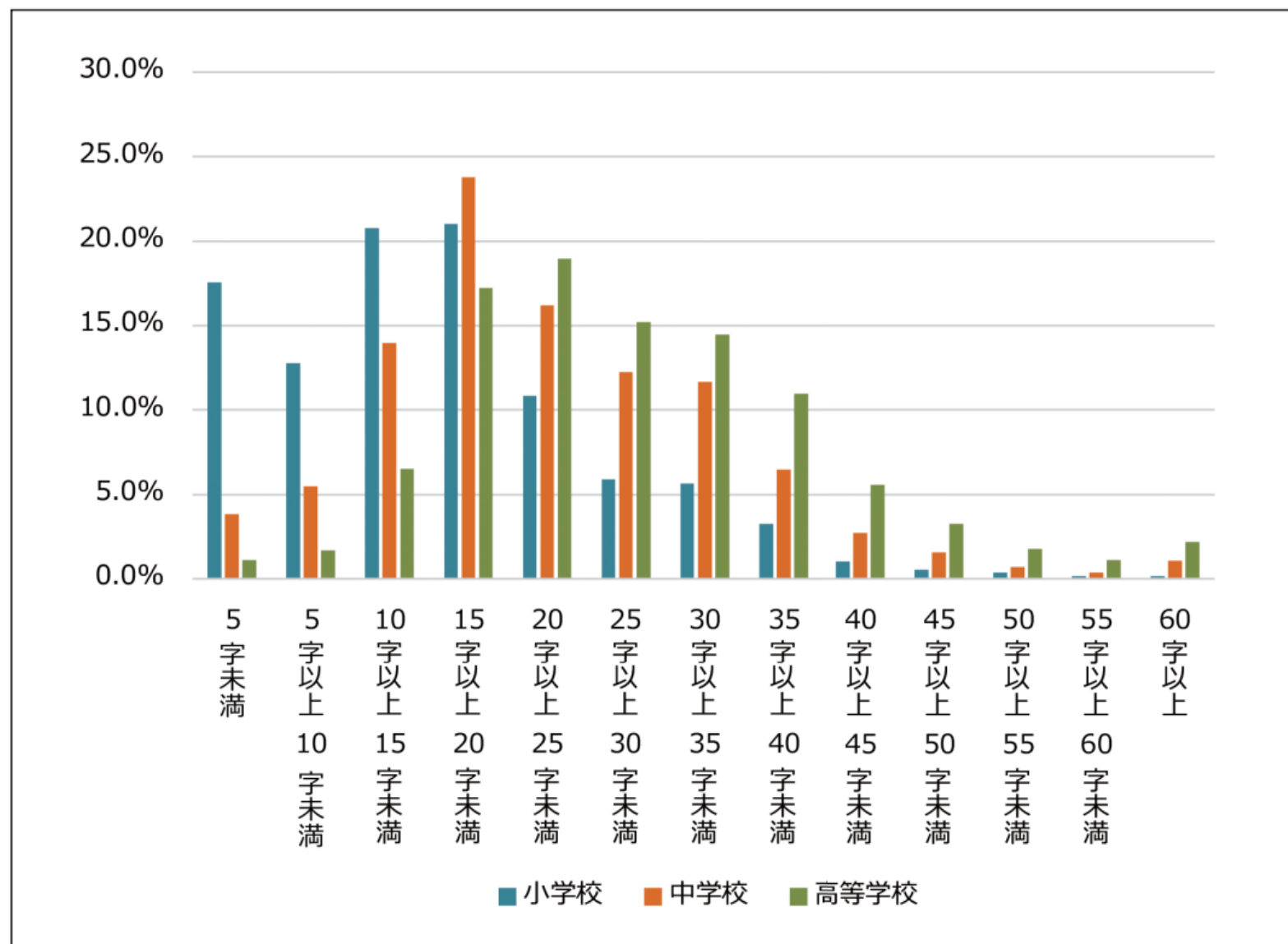
中学校 23.0字/分

熊本市版情報活用能力育成の段階表

小学校 70字/分程度

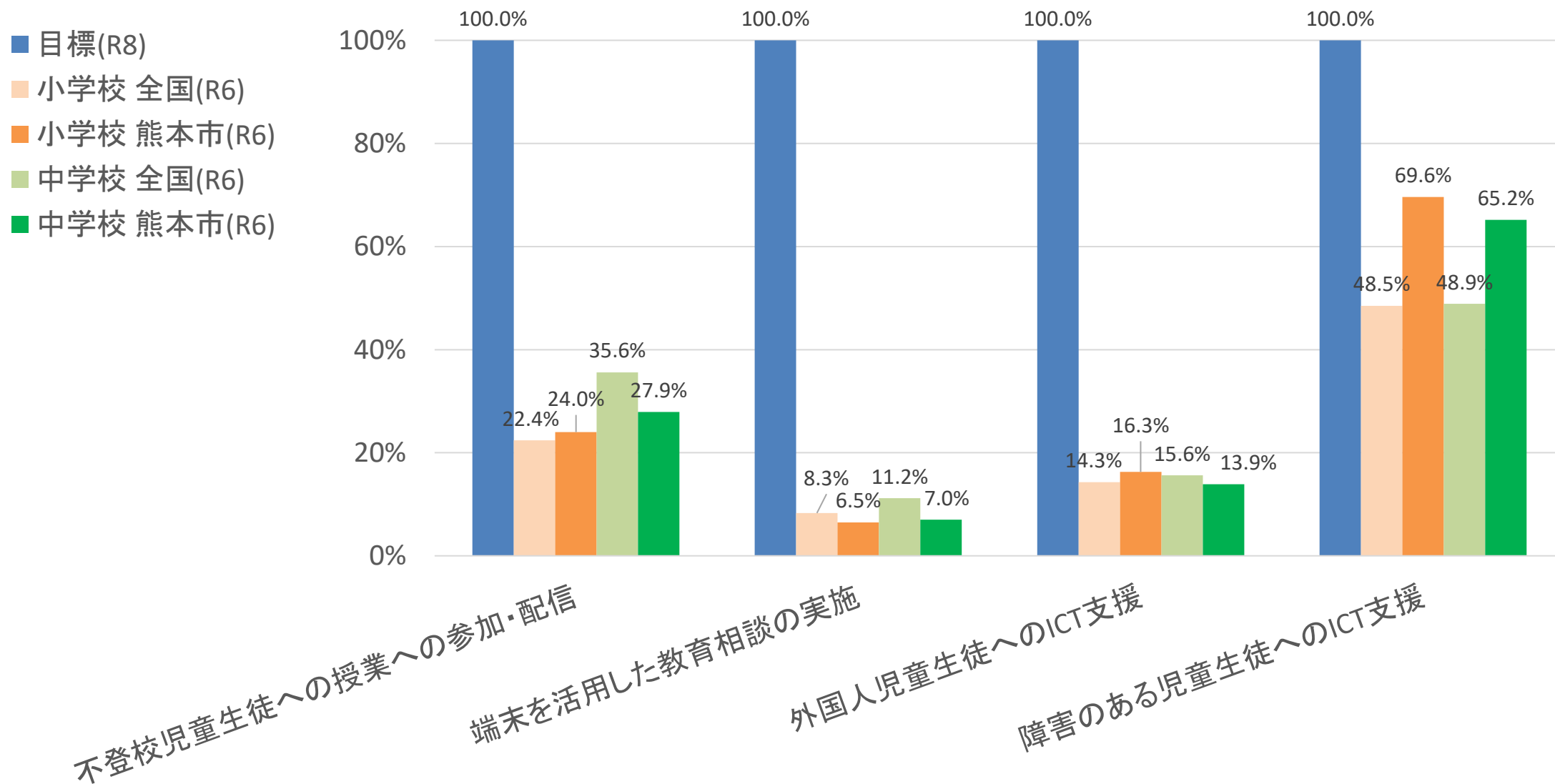
中学校 100字/分程度

図表 2-4-3 1分間あたりの文字入力数の分布 (%)



(2) 自由討議 ③GIGAスクール構想における熊本市のこれまでの総括と今後の方向性について

学びの保障に関するKPI



議論していただきたい部分

GIGAスクール構想における熊本市の
これまでの総括と今後の方向性について



第1回熊本市教育の 情報化検討委員会

令和6年度（2024年度）9月5日（木）熊本市教育センター